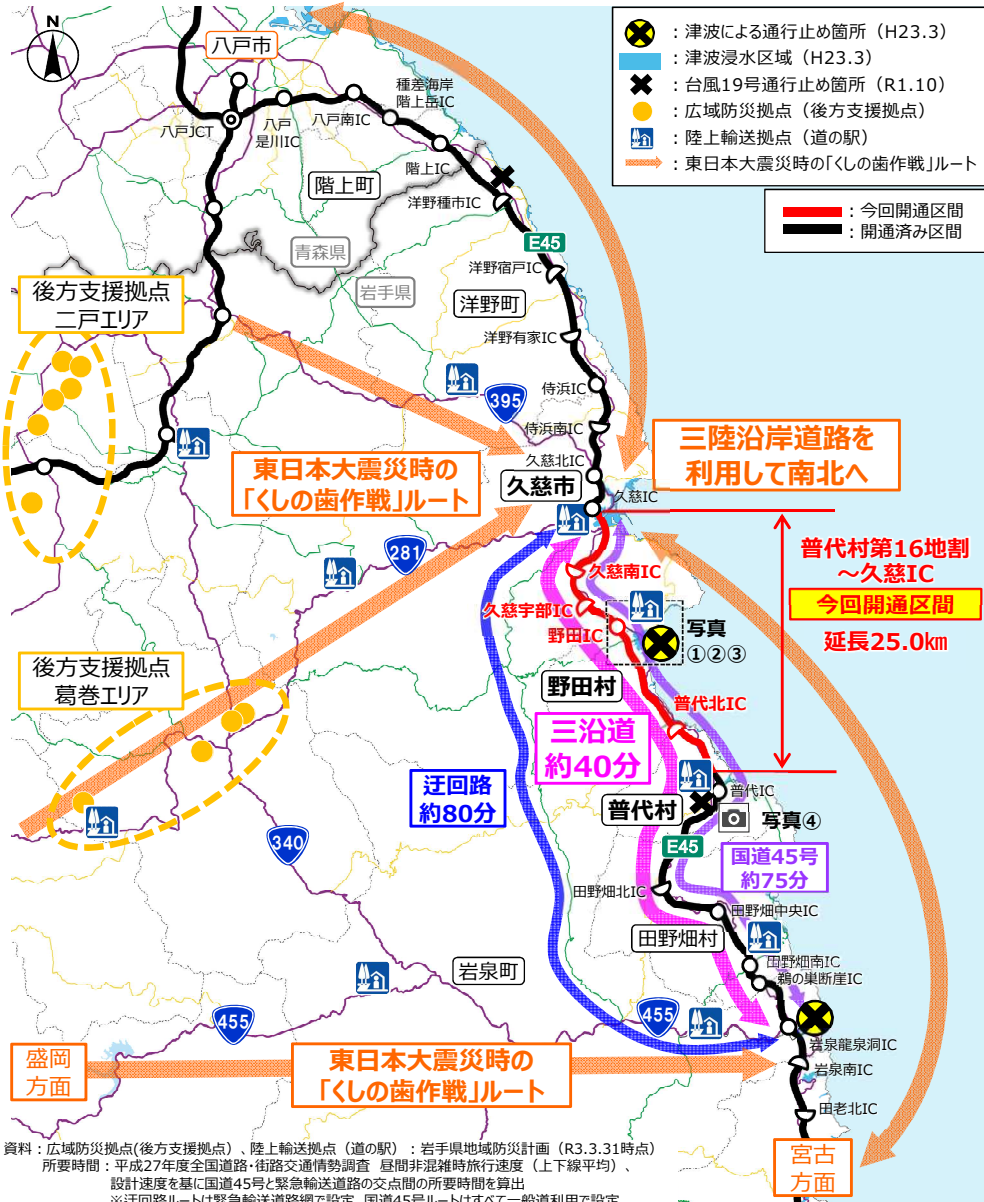


# 災害時のリダンダンシーの確保、ネットワーク信頼性の向上

- ◆沿岸部の幹線道路である国道45号は東日本大震災時の津波浸水や、台風時の冠水等で通行止めが発生し、迂回に時間を要する
- ◆三陸沿岸道路は津波浸水区域を回避し、津波発生時に寸断することなく通行可能であり、交通ネットワークの信頼性が向上
- ◆大規模災害時には後方支援拠点等から三陸沿岸道路等を経由し、迅速な復旧活動を支援

▼大規模災害時における久慈市・野田村・普代村への救援ルートイメージ



▼ <写真①> 津波浸水区域を回避した三陸沿岸道路



▼東日本大震災時の野田村の被災状況



<写真③> 国道45号 (米田橋)



▼令和元年東日本台風(台風19号)発生時の普代村の被災状況

<写真④> 国道45号(普代村役場口交差点付近)



《久慈広域連合消防本部の声》

- ・災害時は、岩手県内の全消防本部と相互応援を行うことになっている。沿岸市町村で大規模災害が発生した場合、これまでの部隊派遣等では、津波浸水区域で足止めされる事があった。
- ・三陸沿岸道路の全線開通により、円滑に被災箇所へ部隊派遣などが可能である。(R3.11 ヒアリング結果)